

## 運用報告書 (全体版)

### 世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2020年3月27日から2030年7月11日までです。
運用方針	外国投資信託証券への投資を通じて得られる収益の獲得および外国投資信託における毎月10日配実施 <sup>®</sup> による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。 ※実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。
主要投資対象	「One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド (以下、「バランス・ファンド」といいます。)」円建受益証券と「ID   AMマネーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	バランス・ファンドでは、トータル・リターン・スワップ等を活用することで、主に日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国の不動産投資信託証券(リート)の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定したリターンの獲得をめざします。 基準価額の変動リスクを年率4%程度 <sup>®</sup> に抑えながら、中長期的に安定した運用をめざします。 ※上記数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれを約束するものではありません。また、上記数値は当ファンドの長期的なリスク水準の目標を表すものであり、当ファンドが年率4%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。上記数値が達成されるかどうかを問わず、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 1万円当たりの基準価額(過去に支払った収益分配金の金額は含みません。)が2,000円を下回った場合には、投資対象とする投資信託証券の売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則として毎月11日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者がバランス・ファンドの分配金を原資として、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。分配金は投資収益にかかわらず、委託者があらかじめ定める目標分配水準に応じて支払うことをめざします。結果として、この投資信託から分配される分配金額の一部または全部が、実質的な投資元本の払い戻しにより行われることがあります。また、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 ※第1期(2020年5月11日)の決算は収益分配を行いません。

愛称：しあわせのしずく

第16期	<決算日	2021年8月11日>
第17期	<決算日	2021年9月13日>
第18期	<決算日	2021年10月11日>
第19期	<決算日	2021年11月11日>
第20期	<決算日	2021年12月13日>
第21期	<決算日	2022年1月11日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界8資産リスク分散バランスファンド(目標払出し型)」は、2022年1月11日に第21期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## 世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）

### ■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 入 金		期 騰 落 率		投 資 組 入 比 率	信 託 証 券 率	純 資 産 総 額
			分 配	金	騰 落	率			
第1作成期	(設 定 日) 2020年3月27日	円 10,000		円 -		% -		% -	百万円 2,000
	1期(2020年5月11日)	10,100		0		1.0		89.2	2,092
	2期(2020年6月11日)	10,224		35		1.6		92.3	2,193
	3期(2020年7月13日)	10,247		35		0.6		92.9	2,505
第2作成期	4期(2020年8月11日)	10,281		35		0.7		93.8	3,267
	5期(2020年9月11日)	10,176		35		△0.7		92.6	4,051
	6期(2020年10月12日)	10,143		35		0.0		94.9	4,227
	7期(2020年11月11日)	10,068		35		△0.4		96.1	4,829
	8期(2020年12月11日)	10,253		35		2.2		95.8	5,361
第3作成期	9期(2021年1月12日)	10,273		35		0.5		96.3	5,703
	10期(2021年2月12日)	10,180		35		△0.6		97.4	5,859
	11期(2021年3月11日)	10,088		35		△0.6		96.9	5,483
	12期(2021年4月12日)	10,141		35		0.9		96.7	5,583
	13期(2021年5月11日)	10,176		35		0.7		97.3	5,561
	14期(2021年6月11日)	10,271		35		1.3		96.7	5,600
第4作成期	15期(2021年7月12日)	10,321		35		0.8		96.7	5,560
	16期(2021年8月11日)	10,375		35		0.9		97.3	5,521
	17期(2021年9月13日)	10,379		35		0.4		96.8	5,502
	18期(2021年10月11日)	9,966		35		△3.6		97.1	5,351
	19期(2021年11月11日)	10,049		35		1.2		95.7	5,469
	20期(2021年12月13日)	9,892		35		△1.2		97.0	5,396
	21期(2022年1月11日)	9,719		35		△1.4		96.8	5,274

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

## ■過去6ヶ月間の基準価額の推移

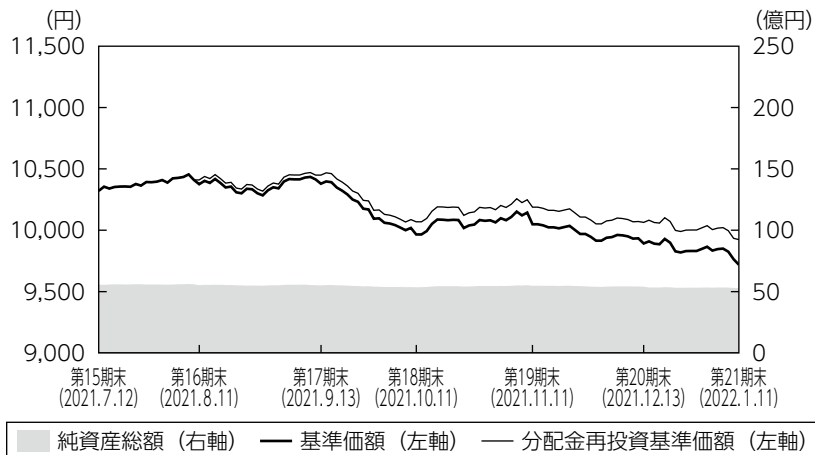
決算期	年 月 日	基準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率
		騰 落 率		
第16期	(期 首) 2021 年 7 月 12 日	円	%	%
		10,321	-	96.7
	7 月 末	10,409	0.9	97.3
第17期	(期 末) 2021 年 8 月 11 日	10,410	0.9	97.3
	(期 首) 2021 年 8 月 11 日	10,375	-	97.3
	8 月 末	10,350	△0.2	97.2
第18期	(期 末) 2021 年 9 月 13 日	10,414	0.4	96.8
	(期 首) 2021 年 9 月 13 日	10,379	-	96.8
	9 月 末	10,097	△2.7	95.9
第19期	(期 末) 2021 年 10 月 11 日	10,001	△3.6	97.1
	(期 首) 2021 年 10 月 11 日	9,966	-	97.1
	10 月 末	10,081	1.2	96.4
第20期	(期 末) 2021 年 11 月 11 日	10,084	1.2	95.7
	(期 首) 2021 年 11 月 11 日	10,049	-	95.7
	11 月 末	9,915	△1.3	97.4
第21期	(期 末) 2021 年 12 月 13 日	9,927	△1.2	97.0
	(期 首) 2021 年 12 月 13 日	9,892	-	97.0
	12 月 末	9,834	△0.6	96.3
第21期	(期 末) 2022 年 1 月 11 日	9,754	△1.4	96.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■第16期～第21期の運用経過（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

### 基準価額等の推移



第16期首： 10,321円  
 第21期末： 9,719円  
 （既払分配金210円）  
 騰落率： △3.8%  
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

原油価格の上昇によるインフレ加速懸念や、米国の金融政策の早期正常化観測などを背景に米長期金利が上昇（債券価格は下落）し、安定資産はマイナスに寄与しました。また、リスク性資産についても、中国不動産大手の債務不履行懸念や新型コロナウイルスの変異株への懸念などから、国内リートや新興国株式市場が軟調に推移し、基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	△3.7%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.0%

- (注) One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 投資環境

中国不動産大手の債務不履行懸念や新型コロナウイルスの変異株への懸念などから株式市場が世界的に下落する場面があったものの、主要企業の良好な決算などを背景に、米国を中心に先進国株式市場は上昇しました。債券市場では、インフレ懸念や景気回復への期待などから金利が上昇（債券価格は下落）しました。

為替市場では、円は対米ドルで円安となり、対ユーロではほぼ横ばいとなりました。対米ドルでは、米金融政策の早期正常化観測などから、円安となりました。対ユーロでは、原油価格の上昇などを背景に一時円安となったものの、その後ECB（欧州中央銀行）の金融緩和長期化観測や新型コロナウイルスの感染拡大への懸念などから円高ユーロ安が進み、前作成期末比でほぼ横ばいとなりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

### ●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

#### 【基本配分戦略（月次）】

各投資対象に関する基本配分比率を月次で決定し、リバランスを行いました。期を通じ、安定資産へ50～65％程度、リスク性資産へ30～50％程度配分しました。

#### 【機動的配分戦略（日次）】

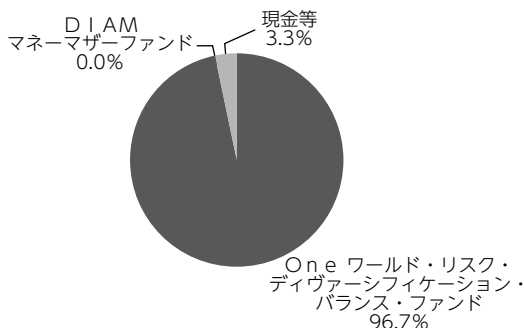
安定資産の下落するリスクが高まったと判断した2021年9月下旬から11月上旬等において、現金等の配分を高めました。また、リスク性資産が下落するリスクが高まったと判断した9月下旬から10月中旬等において、リスク性資産の配分を減らしました。

### ●D I A Mマネーマザーファンド

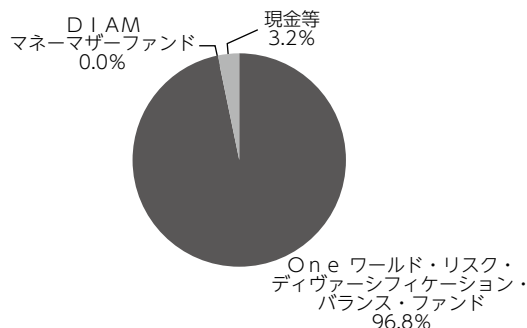
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

## ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

### 前作成期末



### 当作成期末



## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては分配方針に基づき、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期
	2021年7月13日 ~2021年8月11日	2021年8月12日 ~2021年9月13日	2021年9月14日 ~2021年10月11日	2021年10月12日 ~2021年11月11日	2021年11月12日 ~2021年12月13日	2021年12月14日 ~2022年1月11日
当期分配金（税引前）	35円	35円	35円	35円	35円	35円
対基準価額比率	0.34%	0.34%	0.35%	0.35%	0.35%	0.36%
当期の収益	35円	35円	35円	35円	35円	35円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	456円	466円	476円	489円	499円	510円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドを組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

### ●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

基本戦略である基本配分戦略（月次）および機動的配分戦略（日次）に基づき、各投資対象の組入比率を定め、安定した収益の獲得をめざします。

### ●D I AMマネーマザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第16期～第21期		項目の概要
	(2021年7月13日 ～2022年1月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	32円	0.313%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,135円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(12)	(0.116)	
(販売会社)	(18)	(0.182)	
(受託会社)	( 2)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	32	0.315	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

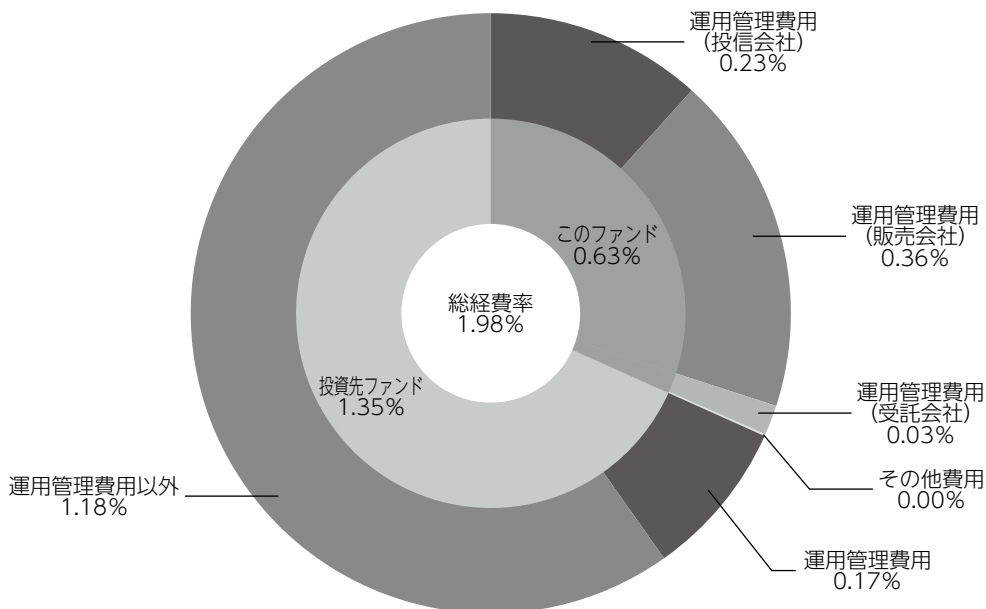
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



総経費率 (①+②+③)	1.98%
①このファンドの費用の比率	0.63%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.17%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.18%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## ■売買及び取引の状況（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

投資信託受益証券

		第 16 期 ~ 第 21 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	One ワールド・リスク・ディヴァー シフィケーション・バランス・ファンド	千口 25.197	千円 239,000	千口 16.115	千円 156,000

(注) 金額は受渡代金です。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## ■利害関係人との取引状況等（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

【世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

## 【D I AMマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期		第 16 期 ~ 第 21 期					
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
公 社 債	百万円 701	百万円 400		% 57.1	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 0.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 210	百万円 -	百万円 210	百万円 0	当初設定時又は当初運用時における取得の処分

## ■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第3作成期末	第4作成期末		
	□ 数	□ 数	評価額	比率
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	千□ 542.345	千□ 551.427	千円 5,103,456	% 96.8
合計	542.345	551.427	5,103,456	96.8

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第3作成期末	第4作成期末	
	□ 数	□ 数	評価額
D I A M マネーマザーファンド	千□ 99	千□ 99	千円 99

## ■投資信託財産の構成

2022年1月11日現在

項 目	第 4 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 5,103,456	% 95.4
D I A M マネーマザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	246,609	4.6
投資信託財産総額	5,350,166	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月11日)、(2021年9月13日)、(2021年10月11日)、(2021年11月11日)、(2021年12月13日)、(2022年1月11日)現在

項 目	第 16 期 末	第 17 期 末	第 18 期 末	第 19 期 末	第 20 期 末	第 21 期 末
(A) 資 産	5,598,768,033円	5,591,539,629円	5,466,837,580円	5,491,999,112円	5,419,426,944円	5,350,166,018円
コール・ローン等	197,458,995	264,385,134	271,523,042	257,438,392	184,153,424	246,609,291
投資信託受益証券(評価額)	5,373,209,147	5,327,054,613	5,195,214,666	5,234,460,858	5,235,173,658	5,103,456,885
D I A M マネーマザーファンド(評価額)	99,891	99,882	99,872	99,862	99,862	99,842
未 収 入 金	28,000,000	—	—	—	—	—
(B) 負 債	76,816,562	88,676,123	115,673,652	22,135,921	22,651,655	75,378,312
未 払 金	—	—	94,000,000	—	—	53,000,000
未払収益分配金	18,628,278	18,556,727	18,792,531	19,050,321	19,094,212	18,996,025
未払解約金	55,294,702	66,972,344	253,500	174,378	552,923	716,125
未払信託報酬	2,880,112	3,132,392	2,615,383	2,897,660	2,990,524	2,653,742
その他未払費用	13,470	14,660	12,238	13,562	13,996	12,420
(C) 純資産総額(A-B)	5,521,951,471	5,502,863,506	5,351,163,928	5,469,863,191	5,396,775,289	5,274,787,706
元 本	5,322,365,369	5,301,922,034	5,369,294,661	5,442,948,869	5,455,489,266	5,427,435,960
次期繰越損益金	199,586,102	200,941,472	△18,130,733	26,914,322	△58,713,977	△152,648,254
(D) 受 益 権 総 口 数	5,322,365,369口	5,301,922,034口	5,369,294,661口	5,442,948,869口	5,455,489,266口	5,427,435,960口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,375円	10,379円	9,966円	10,049円	9,892円	9,719円

(注) 第15期末における元本額は5,387,033,122円、当作成期間(第16期～第21期)中における追加設定元本額は495,278,760円、同解約元本額は454,875,922円です。

## ■損益の状況

〔自 2021年7月13日 至 2021年8月11日〕〔自 2021年8月12日 至 2021年9月13日〕〔自 2021年9月14日 至 2021年10月11日〕〔自 2021年10月12日 至 2021年11月11日〕〔自 2021年11月12日 至 2021年12月13日〕〔自 2021年12月14日 至 2022年1月11日〕

項 目	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
(A) 配 当 等 収 益	26,870,621円	26,680,202円	26,757,801円	27,249,197円	27,726,653円	27,279,110円
受 取 配 当 金	26,877,230	26,684,567	26,759,893	27,253,508	27,731,978	27,281,626
受 取 利 息	123	156	66	6	34	282
支 払 利 息	△6,732	△4,521	△2,158	△4,317	△5,359	△2,798
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	22,655,185	△2,833,755	△225,430,438	39,089,814	△90,907,243	△99,699,929
売 買 益	23,316,127	422,663	408,569	39,246,192	367,496	156,702
売 買 損	△660,942	△3,256,418	△225,839,007	△156,378	△91,274,739	△99,856,631
(C) 信 託 報 酬 等	△2,893,582	△3,147,052	△2,627,621	△2,911,222	△3,004,520	△2,666,162
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	46,632,224	20,699,395	△201,300,258	63,427,789	△66,185,110	△75,086,981
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	85,493,510	111,027,699	112,704,783	△107,085,783	△62,134,521	△145,231,916
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	86,088,646	87,771,105	89,257,273	89,622,637	88,699,866	86,666,668
(配 当 等 相 当 額)	(129,579,580)	(131,222,805)	(134,914,548)	(138,900,978)	(140,743,621)	(141,349,292)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△43,490,934)	(△43,451,700)	(△45,657,275)	(△49,278,341)	(△52,043,755)	(△54,682,624)
(G) 合 計 (D+E+F)	218,214,380	219,498,199	661,798	45,964,643	△39,619,765	△133,652,229
(H) 収 益 分 配 金	△18,628,278	△18,556,727	△18,792,531	△19,050,321	△19,094,212	△18,996,025
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	199,586,102	200,941,472	△18,130,733	26,914,322	△58,713,977	△152,648,254
追 加 信 託 差 損 益 金	86,088,646	87,771,105	89,257,273	89,622,637	88,699,866	86,666,668
(配 当 等 相 当 額)	(129,579,580)	(131,222,805)	(134,914,548)	(138,900,978)	(140,743,621)	(141,349,292)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△43,490,934)	(△43,451,700)	(△45,657,275)	(△49,278,341)	(△52,043,755)	(△54,682,624)
分 配 準 備 積 立 金	113,497,456	116,004,132	120,864,547	127,527,344	131,988,361	135,651,678
繰 越 損 益 金	-	△2,833,765	△228,252,553	△190,235,659	△279,402,204	△374,966,600

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
(a) 経費控除後の配当等収益	25,300,579円	23,533,160円	24,130,188円	26,053,272円	24,722,134円	24,612,951円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	16,615,959	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	129,579,580	131,222,805	134,914,548	138,900,978	140,743,621	141,349,292
(d) 分 配 準 備 積 立 金	90,209,196	111,027,699	115,526,890	120,524,393	126,360,439	130,034,752
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	261,705,314	265,783,664	274,571,626	285,478,643	291,826,194	295,996,995
(f) 1万口当たり当期分配対象額	491.71	501.30	511.37	524.49	534.92	545.37
(g) 分 配 金	18,628,278	18,556,727	18,792,531	19,050,321	19,094,212	18,996,025
(h) 1万口当たり分配金	35	35	35	35	35	35

## ■分配金のお知らせ

決算期	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期	第 20 期	第 21 期
1 万口当たり分配金	35円	35円	35円	35円	35円	35円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

# One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

当ファンドは「世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍外国投資信託／円建受益証券
主 要 投 資 対 象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質的な投資対象は、日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国のリートなどです。</li> <li>・トータル・リターン・スワップを通じて、実質的に有価証券先物取引、ETF等に投資を行います。</li> <li>・有価証券先物取引やETFへの直接投資を行う場合があります。</li> </ul>
投 資 態 度	<p>①トータル・リターン・スワップ等を活用することで、国内外の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定的なリターンの獲得をめざします。</p> <p>・基本配分戦略に基づき、統計的手法を用いて、資産配分に影響を与える「変動要因」の偏りをなくすように、投資対象資産の基本配分比率および通貨配分比率を決定します。</p> <p>②基本配分戦略による「変動要因」の分散に加えて、機動的配分戦略に基づき相場環境の変化を判定し、組入資産を安定資産や現金等に入れ替えることで基準価額の下落の抑制をめざします。</p> <p>③基準価額の変動リスクを年率4%程度に抑えます。</p>
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・信託財産の純資産総額の10%を超える借入は行いません。</li> <li>・流動性に欠ける資産への投資は純資産総額の15%を超えないものとします。</li> </ul>
投 資 顧 問 会 社	アセットマネジメントOne株式会社
受 託 銀 行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
管 理 事 務 代 行 会 社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー
保 管 銀 行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドIはケイマン籍外国投資信託で、2020年12月30日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2020年12月30日現在の財務諸表の原文の一部翻訳・抜粋したものです。

### 損益計算書

2020年3月27日（運用開始日）から2020年12月30日までの期間

	日本円
<b>投資収益</b>	
受取利息	1,276
その他収益	97,016
<b>投資収益合計</b>	<u><b>98,292</b></u>
<b>費用</b>	
支払利息	10,490,500
専門家報酬	6,983,634
会計処理・管理事務手数料	3,607,008
投資運用報酬	2,957,701
保管手数料	1,378,856
創立費	1,094,981
証券代行手数料	928,227
信託報酬	828,784
登録手数料	242,594
<b>費用合計</b>	<u><b>28,512,285</b></u>
<b>投資純損失</b>	<u><b>(28,413,993)</b></u>
実現および未実現利益（損失）：	
<b>実現利益（損失）：</b>	
スワップ契約	188,567,918
外貨建取引および為替予約	18,091
<b>実現純利益</b>	<u><b>188,586,009</b></u>
<b>未実現評価益（損）の純変動：</b>	
スワップ契約	20,058,297
外貨建取引および為替予約	(2,227)
<b>未実現評価益の純変動</b>	<u><b>20,056,070</b></u>
<b>実現および未実現純利益</b>	<u><b>208,642,079</b></u>
<b>運用による純資産の純増額</b>	<u><u><b>180,228,086</b></u></u>

投資有価証券明細  
2020年12月30日現在

元本金額	証券銘柄	公正価値 日本円
	短期金融商品 (74.5%)	
	日本 (74.5%)	
	国債 (74.5%)	
4,000,000,000	Japan Treasury Discount Bill (0.09)% 満期 05/25/21	4,001,480,145
	日本合計 (取得原価¥4,001,480,145)	4,001,480,145
	短期金融商品合計 (取得原価¥4,001,480,145)	4,001,480,145
	投資有価証券合計 (取得原価¥4,001,480,145) 74.5%	4,001,480,145
	現金およびその他資産の負債超過額 25.5	1,368,156,891
	純資産 <b>100.0%</b>	<b>5,369,637,036</b>

店頭トータル・リターン・スワップ残高 2020年12月30日現在 (純資産比率0.37%)

通貨	契約先	想定元本	支払/受取	満期日	プレミアム 支払/(受取) 日本円	未実現評価益 /(損) 日本円	公正価値 日本円
JPY	Credit Suisse International	49,600	One World Risk-Diversification Balance Master Strategy <sup>(a)</sup>	03/15/2023	29,703	20,058,297	20,088,000
					<b>29,703</b>	<b>20,058,297</b>	<b>20,088,000</b>

(a) 上記のバスケット銘柄は、上場投資信託とデリバティブ契約で構成されています。

デリバティブ商品の評価額

潜在的なネットイング契約を含むファンドのデリバティブ・ポジションの要約は下表の通りです。

店頭デリバティブ商品	契約先	デリバティブ 資産額 日本円	デリバティブ 負債額 日本円	(受入) / 差入 担保金* 日本円	純額** 日本円
トータル・リターン・スワップ 合計	Credit Suisse International	20,058,297	-	-	20,058,297
		<b>20,058,297</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>20,058,297</b>

\* 実際に受領した、または差し入れた担保がある場合、その額は上記の表に記載されている額を超えることがあります。

\*\* 純額は、債務不履行が生じた場合に支払期限となる、契約先に対する受取債権または支払債務の額を示しています。ネットイングは、同一の法的主体と同一の法的契約に基づいて交わされる取引間で許可されています。

通貨略語：  
JPY-日本円



# DIAMマネーマザーファンド

## 運用報告書

第12期（決算日 2021年4月5日）

（計算期間 2020年4月7日～2021年4月5日）

DIAMマネーマザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落 中率				
8期(2017年4月5日)	10,104	0.1	71.2	—	—	百万円 1,045
9期(2018年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	1,030
10期(2019年4月5日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	16,167
11期(2020年4月6日)	10,089	△0.1	69.3	—	—	1,139
12期(2021年4月5日)	10,080	△0.1	62.4	—	—	1,064

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

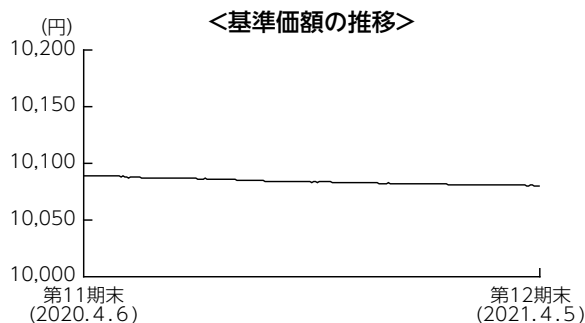
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	新 株 予 約 権 付 社 債 ( 転 換 社 債 ) 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率			
(期 首) 2020年 4 月 6 日	10,089	% -	% 69.3	% -	% -
4 月 末	10,089	0.0	71.1	-	-
5 月 末	10,087	△0.0	89.9	-	-
6 月 末	10,087	△0.0	62.3	-	-
7 月 末	10,086	△0.0	77.8	-	-
8 月 末	10,084	△0.0	74.4	-	-
9 月 末	10,084	△0.0	63.2	-	-
10 月 末	10,083	△0.1	63.2	-	-
11 月 末	10,082	△0.1	64.0	-	-
12 月 末	10,082	△0.1	64.0	-	-
2021年 1 月 末	10,081	△0.1	63.9	-	-
2 月 末	10,081	△0.1	63.9	-	-
3 月 末	10,080	△0.1	62.4	-	-
(期 末) 2021年 4 月 5 日	10,080	△0.1	62.4	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■当期の運用経過（2020年4月7日から2021年4月5日まで）



### 基準価額の推移

当期末の基準価額は10,080円となり、前期末比で0.09%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いましたが、日銀のマイナス金利政策の影響が大きく基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

## 投資環境

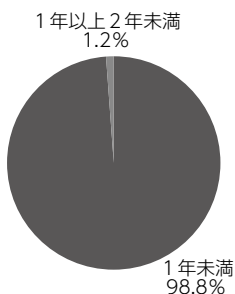
国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。新型コロナウイルスへの影響に対する経済の下支えもあり、日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることなどが要因となりました。

## ポートフォリオについて

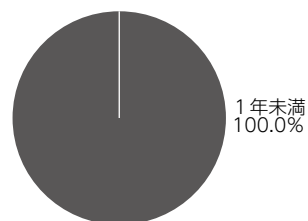
残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

### ○残存年限別構成比 期首（前期末）



### 当期末



## 今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保をめざします。市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

## ■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■ 売買及び取引の状況 (2020年4月7日から2021年4月5日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国 債 証 券	400,802	(700,000)
	地 方 債 証 券	—	(43,470)
	特 殊 債 券	460,461	(236,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2020年4月7日から2021年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 861	百万円 359	% 41.7	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	400,000	400,342	37.6	—	—	—	37.6
特 殊 債 券	263,000	264,140	24.8	—	—	—	24.8
合 計	663,000	664,482	62.4	—	—	—	62.4

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
4 0 2 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,088	2021/07/01
4 0 7 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,254	2021/12/01
小 計	—	400,000	400,342	—
(特殊債券)	%	千円	千円	
1 3 3 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	5,000	5,004	2021/04/30
1 3 7 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.2000	4,000	4,011	2021/06/30
2 7 回 政保地方公共団体金融機構債券	1.0000	154,000	154,552	2021/08/13
1 4 7 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.0000	100,000	100,572	2021/10/29
小 計	—	263,000	264,140	—
合 計	—	663,000	664,482	—

## ■投資信託財産の構成

2021年4月5日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%	千円	%
コーポレート債等、その他	664,482	62.4	400,021	37.6
投資信託財産総額	1,064,503	100.0	1,064,503	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,064,503,858円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	399,647,437
公 社 債(評価額)	664,482,620
未 収 利 息	319,007
前 払 費 用	54,794
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,064,503,858
元 本	1,056,034,563
次 期 繰 越 損 益 金	8,469,295
(D) 受 益 権 総 口 数	1,056,034,563口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,080円

(注1) 期首元本額 1,129,674,818円  
追加設定元本額 713,862円  
一部解約元本額 74,354,117円

(注2) 期末における元本の内訳

クルーズコントロール	990,000,991円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型	103,986円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 資産通貨バスケットコース	4,486,988円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース	4,586,699円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 円コース	997,109円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円
DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルレアルコース	9,925円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
マシユーズ・アジア株式ファンド	29,641,137円
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	188,380円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	109,063円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり)	297,442円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし)	118,977円
リスクコントロール型ETF分散投資ファンド (適格機関投資家限定)	9,881,322円
期末元本合計	1,056,034,563円

## ■損益の状況

当期 自2020年4月7日 至2021年4月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	5,639,477円
受 取 利 息	5,777,516
支 払 利 息	△138,039
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△6,625,182
売 買 益	5,382
売 買 損	△6,630,564
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△985,705
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	10,094,745
(E) 解 約 差 損 益 金	△645,883
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,138
(G) 合 計(C+D+E+F)	8,469,295
次 期 繰 越 損 益 金(G)	8,469,295

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。